



谷口 廣子さん
(窪川高校給食支援員)



母校のためになるならと

昼休みを告げるチャイムが鳴ると、生徒たちがわいわいとランチルームに入ってきた。この日の献立は肉じゃがとブロッコリーのサラダ。テーブルに並んだ皿を順番にお盆に取り、谷口廣子さんにご飯をよそってもらう。

よく見ると、一人一人ご飯の量が違う。「この子は大盛り、この子は少なめ、というのは大体分かっています。なるだけ、残さんように食べてもらいたいと思ってます」と谷口さん。配膳が一通り終わると、生徒の横で給食を食べる。若い人と一緒にご飯を食べたら元気をもらう、とほほ笑む。

窪川高校では、閉鎖していた食堂を生徒たちが4年前に改修し、OBが運営するカフェスペース「三年坂」がオープン。2021年度からは希望者を対象に給食の提供が始まり、ランチルームとしても活用している。全校生徒と職員の9割ほどが給食を利用しており、学校給食センターから1日約90食が届けられる。

谷口さんは窪川高校を卒業後、図書室の司書としてその

まま母校で働いた。「恩師がいっぱいおるところで働くのは少し嫌でしたけど、助けられたこともいっぱいありました」と笑う。当時の図書室はクラスとはまた違う、生徒たちの居場所にもなっていたという。「生徒の話はよく聞いちゃならないかん」。そんな思いで接していたと振り返る。

高校に42年勤めて定年退職。給食のスタートに合わせて声をかけられ、「学校のためになるなら」ともう一度母校で働き始めた。昼休みに間に合うように配膳を始め、サラダや和え物などは人数分をテーブルに並べておく。ご飯や主菜など「冷めたらいかんもの」は生徒たちが来てから手渡すようにしている。

在校生の中には、司書時代に接した生徒の子どもや孫もいる。「自分の目標を早く持って、それに向けた勉強をして、希望する進路に行けるように頑張ってもらいたい」。今日も温かい給食を準備して、生徒たちを出迎える。

ちよい 町にはこんは waza も
waza!! 「体育はじめ」にきょうだいで毎年参加!

1月2日の「体育はじめ」のジョギングに10年ほど前から欠かさず参加。最初は「親に連れていかれて」参加したが、いつの間にか年始の習慣に。恵吾さんは「出られる限りは走りたい」、歩澄さんは「走ると気持ちが切り替わる」と話す。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちよいwaza!!は随時募集中!



四万十高校の魅力



四万十高校公式Instagram
@shimantokoukou
ぜひフォローしてください!!

地域とつながる教育活動② ひなまつり人形の飾り付け

【協力者：大正浪漫実行委員会・四万十町商工会大正支所・大正地域振興局】

地域の方に協力していただいている教育活動を紹介し、今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。

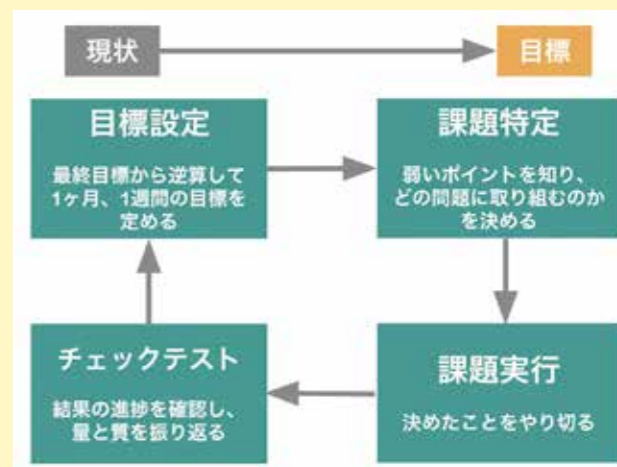
全国各地から寄付していただいたひな人形が大正商店街に大集合する「大正浪漫ひなまつり」のイベント開催に向けて、ひな人形の飾り付けボランティアに参加をしました。例年は桃の節句に合わせて3月に実施をしていますが、今年は重陽の節句（旧暦の9月9日）に合わせて準備をしました。説明を受けた後、丁寧に扱いながら飾り付けを行いました。

生徒の感想（一部抜粋）

- ・たくさんのひな人形があってすごいと思ったし、どこからこの人形が集まってきたのか気になった。
- ・ひな人形がとてもきれいだったし、飾り付けはとても楽しかった。
- ・飾り付けは少し難しかったが、飾り終わった後の達成感があった。またやってみよう。



地域で挑戦する、高校生たち



1月も中旬に差し掛かり、受験は山場の時期。「じゆうく。」に通う生徒も、自分の進路実現に向かって日々勉強に励んでいます。目標に向かう過程で、何をするかを決めるのはスタッフではなく生徒自身。スタッフは、正しく課題を決められているかをチェックしたり、アドバイスをしたりしています。スタッフ一同、最後まで丁寧にサポートしていきます!

【お問い合わせ先】 町営塾「じゆうく。」 ☎050-5482-3339
人材育成推進センター ☎22-3163